

報告月	2 月	グループ名	短歌 まさらぎ	※翌月、5日までに事務局に提出して下さい
<p>内 容</p> <p>(写真あれば添付)</p>	<p>昨日の寒さに比べ、少し暖かび 助かりました。本日も全員参加です。最年長(95歳)の見玉さんから「来年度はどうしようかしら? 今まだ元気なうちに去就を決めておいて方がいいと思って」とのお話があり、皆で意見を述べ合いました。(この短歌会の素晴らしいところは本音で語り合えるということです)結論は「やれなとこまで頑張ってみましょう!」という事で又5人で登録料を頂くことになりました。月1回短歌に日常の思いを綴り、それを発表(合う事)生き甲斐に又楽しみにして 励みの絆を深め広げていきたいと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今回、全員が感動した兵藤さんの短歌 「山空の とくりと青き弥生くぬ 服買うも余命 意識あななり」 「とくりと青き弥生」という表現が とてもステキです。</li> <li>○全員が頷いた鈴木さんの短歌 「ほどほどの今の幸せず」と先 もっと先まで続いて欲しく」今の幸せに感謝です。 人生100年時代と言われるのが95歳・93歳の先輩の皆様のおかげに 私も「短歌」を詠み続ける人生でありたい。</li> </ul>			

# 怆心をつむぐ あしたを織る

【2025年度 グループ活動報告書】

※翌月、5日までにデータで提出ください  
mail 送信先 <mailto:astesun@aste-toyota.com>

報告月	/ 月	グループ名	短歌きさらぎ
<p>内容 (写真あれば添付)</p>	<p>2026年スタートの1月に全員、無事に集い合えて事が何よりでした。 豊田理事長と一緒にクリスマスツリーの前で撮って頂いた写真を プリントして皆さんに大変喜ばれました。 (「遺影にいいね」と大笑いし合っておられました) 1月のトピックスは見玉さんが詠まれた短歌 <u>「昨年につくりおさめと決めたいに 年女のめぐりに昆布巻結ぶ」</u> 今年8回目の年女のめぐりて 96歳になられる見玉さんの日常 (畑作業や昆布巻を作られる姿やパソコンに向っておられる事など)が 感動です。 鈴木さんの <u>「車椅子乗ったが我に仲間達 旅の誘いや優け溢る」</u> の短歌—たとえ車椅子でも長く集って頂きにいと願ってやみません。</p>		

# 怆心をつむぐ あしたを織る

【2025年度 グループ活動報告書】

報告月	12月	グループ名	短歌 きさらぎ
-----	-----	-------	---------

※翌月、5日までにデータで提出ください  
mail 送信先 <mailto:astesun@aste-toyota.com>

内容 (写真あれば添付)	<p>11月に引き続き今月も全員元気に集い合えた事に皆で感謝し合いました。 「珈琲でも飲む そんな声して目覚めれば今日は私の誕生日なり」と、93歳に なられに兵藤さんが詠まれ、「珈琲でも飲む？」と若き日七き夫に声かけられた日の 事をロマンチックに語って下さいました。</p> <p>95歳の見玉さんが「<u>バッテリーを替えて走行距離のびて 用足す範囲広がるセパカー</u>」 と詠まれました。セパカーを運転される姿が目に見えかぶと盛り上がり、セパカーの質問 が飛びかいました。(笑)</p> <p>「わが短歌会に、介護福祉士さんがいきて、私達は安心してここに集えなわ！」 「もう3人が90代だから、いつ何時誰かが亡くなるかも、それは不思議な事ではな いから、『今月集い合えて良かった！先の事はわからないけど』と、一日一日大事に生きて いきましよう！」との先輩の一言一言には重みがあります。だから60代の私も、 「今日も一日、丁寧に生きていこう」と、心から思える短歌会です。</p>
-----------------	---

# 怆 心をつむぐ あしたを織る

報告月	11月	グループ名	短歌きさらぎ	※翌月、5日までに事務局に提出して下さい
-----	-----	-------	--------	----------------------

5人全員が揃ったのは6月以来でしたので、とにかく皆で喜び合いました。  
 90代の貝玉さん・山田さん・兵藤さんも本当によくお話しをされ嬉しかったです。  
 鈴木さんは前日に「本当に歩くのが大変になってきたので、車イスのお手伝いを頼めかしら」と連絡を頂きました。私も介護福祉士ですから、鈴木さんのお役に立てて良かったです。

兵藤さんが「ポポと云う迷いのひとつが解けし夜は 今どこで鳴いてるポポの声」という歌を詠まれ、皆で「ポポと鳴く ツツドリについて」スマホで調べたり、鳴き声を聴いたり、大変盛り上がりました。兵藤さんは「夜にポポという鳴き声を聴くとロマンチックな気持ちになる」と言われ、心の豊かさに感動しました。

久しぶりに山田さんから誉めて頂いた：私の歌

「<sup>おろろろ</sup>夜濯で見上げる空にオリオン座 遠回りするくらいがいいか」「いいね」と言われると張り合いが出ます。先輩方の言葉には心があり、力があります。  
 「毎月あひでに集まって気兼ねなく話ができて幸せね」と言って下さる事が何よりです。  
 北沢

【2025年度 グループ活動報告書】

# 怆心をつむぐ あしたを織る

報告月	10 月	グループ名	短歌まつら、き
-----	------	-------	---------

※翌月、5日までに事務局に提出して下さい

10月は、鈴木ちづ子さんが通院の為欠席されましたので、4名で開催の事ができました。

8月・9月と短歌会の開催ができませんでしたので、3ヶ月ぶりに顔合わせできて、各々の短歌を通して様々な会話や対話が盛り上がった事は何よりでした。

○ 兵藤さんの歌「暗道の我の歩みについて来る 猫と語せる深夜の月なり」を通して  
ワンクだけ、猫が兵藤さんに寄り添って兵藤さんと気遣う猫に成長している様子と聞いて  
孫やひ孫の成長にまで話が弾みました。

○ 見玉さんの歌「珍しく屋敷にイタチ現れぬ 鉢植文の間みり目の合う一瞬」

○ 山田さんの歌「もう誰も来ぬ 秋の葉師堂ふら叢に群れてか 虫の合唱」

と季節の移り変わりと感じる日々の暮らしを共有し合いました。

皆さん「こんな時にしっかりおしゃべりしたのは久しぶり！」と喜んでおられたのが印象的でした。

11月も、皆さん元気に集い合えまうけに、と願ってやみません。

北 沢

報告月	7 月	グループ名	短歌 きさら、ま	※翌月、5日までに事務局に提出して下さい
内 容 (写真あれば添付)	<p>本日の参加者は、山田静江さん 矢藤カオルさん・北沢の3人でした。 見玉孝子さんは足の調子が悪く、鈴木らづ子さんは夏風邪のため 欠席されました。</p> <p>今日は山田さんが詠まれました。 「遠き日の恋もホツリと生身<sup>いしなま</sup>魂 一葉ひらひら小けき庭辺」から 3人で「恋バナ」で盛り上がり、大笑いしました。</p> <p>(「母子ほど年の離れた先輩と 短歌詠む日は宝の時間」 感謝の気持ちでいらはおいです。)</p>			

# 坊 心をつむぐ あしたを織る

報告月	6 月	グループ名	短歌 きさらぎ	※翌月、5日までに事務局に提出して下さい
<p>内 容</p> <p>(写真あれば添付)</p>	<p>6月も 山田さん・見玉さん・兵藤さん・鈴木さん 北沢と        全員揃って 短歌会が開催でき、事が何より嬉しいです。        95歳になられた見玉さん筆頭に、全員がよく喋りよく笑う この        短歌会の在り方は、常に希望の存在であり、一ヶ月でも長く続けられ        る事と願うばかりです。</p> <p>見玉さんの歌 「待つという心の大事『スカシユリ』膨らむ蒼朝ごと眺む」        山田さんの歌 「卒寿過ぎ 山陰巡る旅六日 友の推しなる靴軽々と」</p> <p>毎月の短歌会 一回一回が貴重な時間と後け止めています。        「あすにて 歌詠み集う短歌会 変化なしあり奇跡の時間」        60代の私にとって毎日が貴重な時間です。  <span style="float: right;">北 沢</span></p>			

報告月	5 月	グループ名	短歌 まつらぎ	※翌月、5日までに事務局に提出して下さい
<p>内容 (写真あれば添付)</p>	<p>5月16日(金)</p> <p>出席者…山田静江さん、見玉孝子さん、兵藤カヲルさん、鈴木ちづ子さん 北沢瞳 全員 元気で参加できました。</p> <p>92歳の山田さんは、毎朝の散歩で出会ひに鶯の鳴き声、雨の西葩<small>むら</small>(紫陽花) ほととぎすの様子などを詠まれてみえました。</p> <p>94歳の見玉さんは、ご自宅の畑で鎌を入れこり、草取りされたこり 頑張っておられる様子を詠まれてみえました。</p> <p>92歳の兵藤さんは、首以外の体の骨を骨折され「幾度の入院繰り返し心が折れて…」という心境を語られ、今 短歌会に出席できる喜びを詠まれました。</p> <p>「幸、不幸 定めに難き過去はれど 孫子に言はぬ百迄生きてと」 山田 作</p>			

報告月	4 月	グループ名	短歌 きつら、き	※翌月、5日までに事務局に提出して下さい
内 容 (写真あれば添付)	<p>4月18日(金)</p> <p>出席者…山田静江さん、見玉孝子さん、兵藤カヲルさん、鈴木ちづ子さん 北沢 瞳 全員出席できました。</p> <p>1人5首ずつ 計25首の短歌を詠み合い、90歳台の先輩方の希望あふれる お話をお聞きしました。</p> <p>「生れてより 休みなく動く わが肉体劣化はあれど 今日ほ動ける」 見玉 作</p>			